



十小だより

令和5年4月28日
第2号
府中市立府中第十小学校

保護者や地域の方とともに子供を育てる学校を目指して

校長 草刈 あずさ

令和5年度、684人の子供たちが、それぞれの思いをもって始まった新学年は1か月が終わるところです。4月17日には、全校児童が校庭に集まり、1年生を迎える会を行いました。手作りのかわいいポシットを掲げた1年生を温かく迎えていた雰囲気や、集まった上級生が話を聞く態度もよく、話が終わると拍手をする姿が素敵でした。6年生を中心に、気持ちのよいあいさつや助け合いなどが日常的に見られ、よいスタートの4月となりました。

さて、今年度の府中第十小学校は、「ポジティブな雰囲気に溢れ、皆が活躍できる学校」を目指し、以下の目標を設定し、教職員一同で学校運営を行ってまいります。

目標1：児童の心に寄り添った指導の充実

(いじめ対応、不登校支援、特別支援教育、ほめて伸ばす、あいさつ運動)

目標2：学ぶ意欲の向上と個に応じた学びの充実

(子供が自ら学ぶ授業、体験的な学習の充実、デジタル活用、英語学習)

目標3：地域・保護者との信頼関係の構築

(保護者との連携・協働、スクールコミュニティ協議会の充実、幼保小中の連携)

目標4：働き方改革の推進・すべての教育活動の基となる教師力の向上

(校務の効率化、ライフスタイルに合った働き方とキャリアアップ)

タブレット端末の活用や持ち帰り、スマート連絡帳による家庭との連絡など、学習や校務のデジタル化に取り組んでいます。これからの社会を生きる子供たちにとってデジタル活用能力は、必要な力ですので、タブレット等の活用を進めてまいります。しかしながら、デジタル化が進む中では、人と人との直接的なつながりが希薄になりがちですので、これまで以上に人とのつながりが大切と考えています。4月には、1・2年生が手をつないで学校探検で校長室を訪れ、2年生が1年生を気遣いながら説明をしていたり、3・4年生が武蔵野の森公園への遠足でのグループ活動を楽しみにしていたり、微笑ましいつながりがありました。また、5・6年生が高学年らしい姿を意識して下級生に声をかけてくれています。職員室では教職員が活発に情報交換をし、子供たちによりよい指導ができるよう、チームで頑張っています。校長室も、多くの人に訪れてもらい、話ができるスペースとなるよう模様替えをしているところです。ぜひ、多くの声や考えをお聞かせください。そして、情報を共有して、ともに子供たちを育てていきましょう。

今後も、学校の教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。